

陶史の森にも冬の便り ～冬鳥到来～

最近、早朝の気温は1桁台になり身に染みる寒さとなりました。季節もすっかり冬。皆さん、こたつで丸くなってばかりではありませんか。40℃超えを記録した夏も随分昔のことのように感じられます。

さて、この時期の陶史の森では、晴れた日の早朝、運が良ければ林泉の池で朝霧が立ち込めた幻想的な風景が見られます。

また、ツバメやコサメビタキなど夏鳥の姿がすっかり見られなくなった反面、コガモやキンクロハジロなど冬鳥たちの愛らしい姿がちらほら見られるようにもなりました。毎月第4日曜日に行われているバードウォッチングでは、ジョウビタキ(写真右)やカルガモなどもあちらこちらで観察できるようになりました。

先月は紅葉と桜を取り上げ、植物の世界の季節の移り変わりを紹介しましたが、野鳥の世界でも季節は冬へと確実に移っています。今は冬の野鳥と出える旬な時期。ぜひ、皆さんで冬鳥の鳴き声を聞いたりバードウォッチングを楽しんだりして、寒さを吹き飛ばしましょう。



 森の日記

キノコ教室

10月14日(日)

大盛況のキノコ教室。今年は定員を大幅に増やして開催しました。参加者は、初心者向けの講義を受けた後、園内を散策しながらキノコを採集。講義での学びを生かして、名前や毒の有無を図鑑などを使って調べました。

活動後は「話を聞いてから採集できたのすごく印象に残った」などの感想が聞かれ、皆さんの知識が深まったようです。温かいキノコ汁も振る舞われ、笑顔あふれる教室でした。



 教室のご案内

12月

バードウォッチング(自由参加、雨天中止)
23日(日・祝) 午前9時～11時30分
初冬の野鳥を観察します。

1月

バードウォッチング(自由参加、雨天中止)
27日(日) 午前9時～11時30分
冬の野鳥を観察します。

冬季は木々の葉っぱが落ちているので、野鳥を観察するベストシーズンです。ネイチャーセンターでは、双眼鏡や野鳥図鑑を貸し出しています。気軽に声を掛けてください。

お知らせ

12月29日(土)～1月3日(木)は、休園します。

